

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
社会の理解 I Understanding Society I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
介護の基本 障害の理解				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護福祉士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
建守 善之	非常勤講師室	授業中にお知らせします		授業中に指示します
授業の概要				
我が国の社会保障の範囲と私たちの生活を支える社会保障制度や介護保険制度などの社会福祉に関連する法制度の概要や動向を理解する。				
授業の目標				
①生活の構成要素、ライフサイクルの変化などの社会状況を理解し説明できるようにする。 ②家族や地域の概念・機能がについて知識を取得できるようにする。 ③社会保障制度の概念・範囲・しくみについて知識を取得できるようにする。 ④日本の社会保障制度の歴史的変遷について知識を取得できるようにする。				
授業の方法				
講義、演習、模擬授業、ディスカッションなどを取り入れる。				
学習の成果 (学習成果)				
①法制度が成立した変遷を簡単な年表でまとめることができ、積極的に課題に取り組むことができる。 ②社会保障制度、介護保険制度、障害者総合支援法について基本的事柄について説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	社会の理解について学習内容を確認し、学ぶ意義を理解する。ガイダンス・概要説明。			
第2回目	私たちの生活をテーマに、生活・家族・地域社会など			
第3回目	現代におけるライフスタイルの変化について			
第4回目	生活の支援と福祉の体系について			
第5回目	社会保障の基本的な考え方について			
第6回目	社会福祉の法制度について			

第7回目	日本の社会保障制度の発達について(社会保障の枠組み)
第8回目	日本の社会保障制度の発達について(介護保険制度と社会福祉)
第9回目	日本の社会保障制度の体系について
第10回目	現代社会と社会保障制度について
第11回目	社会保障制度 (年金保険)
第12回目	社会保障制度 (医療保険)
第13回目	社会保障制度 (労働者関連の社会保険)
第14回目	各種社会扶助の概要について
第15回目	我が国の社会保障給付について

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	教材を常に準備して臨んでいる。ディスカッションの場面では、積極的に意見を述べている。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問している。
レポート	10%	出題者の意図に合致したものとなっている。詳細は(ガイダンス等で説明する)
調査報告書		
小テスト	10%	国家試験に準じた問題を解き、理解できたかどうかを確認する。詳細は(ガイダンス等で説明する)
試験	50%	授業で学んだ内容を中心に理解できたかどうかを確認する。詳細は(ガイダンス等で説明する)
発表内容(態度含む)		
その他		

教科書と参考図書

教科書 : 「社会と制度の理解」 中央法規
 参考書 「わかる・みえる社会保障論」 みらい

履修上の留意点・ルール

目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物等持ち込み禁止。